

# 85点

『万延元年のフットボール』

——大江 健三郎

小説の諸要素の異常性、寓意や象徴のふんだんな使用、組み合わせの複雑さ、万延と現在を密接に結びつけて進行する構成の緻密さ、それらを破綻なく描く文体の重量を大江は獲得している。その意味で全く別次元にある。

## 近代 文学史

に銘記されるべき

現役作家 100 人、主要 505 作品を  
〈厳正〉かつ〈徹底的〉に採点！

作家の値うち <sup>スーパー</sup> 令和の超ブックガイド

小川榮太郎 著 飛鳥新社

